PART2 集団安全保障方式の成立

Chapter1　国際連盟

目標
国際平和の維持方式の，第一次世界大戦前後での変化を理解しよう。
現代の情勢から考えて，国際連盟の最大の問題点は何であったか考えよう。

1　集団安全保障体制の登場

サン＝ピエール（仏）が『永久平和論』，**カント**（独）が『永久〔永遠〕平和のために』で国際平和機関の設立を説き，国際平和の維持方式の，勢力均衡方式から集団安全保障方式への移行をうながした。

①〔　　　　　　　　〕方式

各国間の軍事力の均衡が国際社会の安定を生み出すという考え方。17 世紀半ばから 20 世紀初頭までのヨーロッパで，軍備拡大競争と武力衝突を招く。

※第一次世界大戦前の**三国同盟（独・墺・伊）vs 三国協商（英・露・仏）**が典型。

②〔　　　　　　　　　　　〕方式

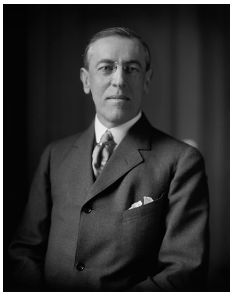
国際平和機関を設立し，安全平和を確保するという考え方。軍事的侵略を行う国家には他のすべての加盟国が共同して制裁を加える。

※第一次世界大戦後の**国際連盟**と，第二次世界大戦後の**国際連合**。

カント

2 国際連盟（1920〜45年）

アメリカ大統領〔　　　　　　　　　　〕（民主党）の **14 カ条**（1918年）を基礎に，第一次世界大戦後のパリ講和会議を経て **1920年**に発足。


ウィルソン

①本部

スイスの〔　　　　　　　　　　〕

②原加盟国

42 カ国

③組織

総会・理事会・連盟事務局など。

※初代事務次長には日本の〔　　　　　　　　　　〕が就任。

※国際労働機関〔ＩＬＯ〕，常設国際司法裁判所を付置。

④常任理事国

イギリス・フランス・イタリア・〔　　　　〕

※ 1926年にドイツ，34年にソ連も加わる。

※しかし 1933年に日本・ドイツ，37年にイタリアが国際連盟脱退。39年にはソ連が国際連盟から除名される。

⑤問題点

A　**大国の不参加**

提唱国であり最強国である〔　　　　　　　　〕**の不参加→**共和党が強い上院の反対

※ドイツ・ソ連は遅れて加盟。

B　総会における**全会一致制**の原則

多数決制に比べて審議が進みにくいので実際の運用では緩和

C　〔　　　　〕**制裁規定の欠如**

経済制裁しかできず，第二次世界大戦の発生を防げなかった

D　連盟規約への**人種的差別撤廃提案は却下される**

〔　　　　〕が提案したがアメリカ・イギリスが反対

まとめ　国際平和の維持方式は，勢力均衡方式から集団安全保障方式へ変化した。
国際連盟の最大の問題点は，提唱国で最強国のアメリカの不参加だった。

Chapter2　国際連合の設置とブレトン＝ウッズ体制

目標　国際連合の中で紛争解決のための強力な権限を持つ機関とその特徴を知ろう。
ブレトン＝ウッズ体制の目的を理解しよう。

1　国際連合の設置

①国際連合の設置過程

1941年　〔　　　　　　〕**憲章**
※米・英が発表し，のち26カ国に

1944年　**ダンバートン＝オークス会議**→アメリカのワシントン郊外
※米・英・ソ（のち中と交代）が国連の原則や憲章の草案を検討。

国際連合の旗

1945年　ヤルタ会談（２月）
※米・英・ソがドイツ・日本降伏後の国際秩序を決定。
〔　　　　　　　　　　　　　　〕**会議**（４～６月）→連合国50カ国が参加
※国際連合憲章〔国連憲章〕を採択。
〔　　　　　　　〕発足（10月24日）
※本部は**アメリカ**の〔　　　　　　　　　　　〕。原加盟国51カ国。

②国際連合のしくみ

A　〔　　　　〕→全加盟国で構成される最高機関
B　〔　　　　　　　　　　　　　〕**〔安保理〕**
　あ　**常任理事国**→〔　　　　　　〕を持つ**米・英・仏・ソ・中の五大国**
　い　**非常任理事国**→任期２年の**10カ国**
C　**事務局**→〔　　　　　　　〕が最高責任者
D　**国際司法裁判所〔ICJ〕**→本部はオランダのハーグ
E　信託統治理事会→現在は活動を停止
F　**経済社会理事会**→任期３年の54カ国

G　専門機関

あ　**国際〔　　　　〕機関〔ILO〕**

い　**国際通貨基金〔IMF〕**

う　**国際復興開発銀行〔IBRD・世界銀行〕**

え　**国連教育科学文化機関〔UNESCO〕**

お　**世界〔　　　　〕機関〔WHO〕**

H　関連機関

〔　　　　〕**と貿易に関する一般協定〔GATT〕**・国際原子力機関〔IAEA〕など

2　ブレトン＝ウッズ体制

戦後の国際金融･経済面における協力体制を築き，ブロック経済圏のつくり合いを防いで，貿易自由化により世界平和を支える。

※ 1944年，アメリカのニューハンプシャー州で開かれた**ブレトン＝ウッズ会議**以降，話し合いが進み，アメリカの〔　　　　〕が**基軸通貨**となり，各国の通貨と**固定為替相場制**でつながった（＝金ドル本位制）。

1945年　IMF・IBRD発足

1947年　GATT成立

まとめ　国際連合では，安全保障理事会が，国際紛争解決のための政策を決定する強力な権限を持っており，五大国が拒否権を持つ。
ブレトン＝ウッズ体制には，貿易自由化により世界平和を支える目的がある。

第13講 PART2 確認問題

1 『永久〔永遠〕平和のために』で国際平和機関の設立を説いたのはだれか。

① サン＝ピエール　② グロティウス
③ ウィルソン　④ カント

2 各国間の軍事力の均衡が国際社会の安定を生み出すという考え方の名称とその採用例の組み合わせとして正しいのはどれか。

① 勢力均衡方式：三国同盟　② 勢力均衡方式：国際連盟
③ 集団安全保障方式：三国協商　④ 集団安全保障方式：国際連合

3 国際連盟設立の基礎となった 14 カ条を提唱したのはだれか。

① カント　② ウィルソン
③ グロティウス　④ サン＝ピエール

4 国際連盟の常任理事国であったが 1937年に脱退した国はどこか。

① ソ連　② イタリア
③ ドイツ　④ 日本

5 国際連盟についての説明として正しいのはどれか。

① 連盟規約への武力制裁規定の記載
② 総会における多数決制の原則
③ 連盟規約への人種的差別撤廃規定の記載
④ 大国の不参加

6 国際連合憲章〔国連憲章〕を採択した会議はどれか。

① サンフランシスコ会議　② ブレトン = ウッズ会議
③ ヤルタ会談　④ ダンバートン = オークス会議

7 安全保障理事会の常任理事国はどこか。

① 日本　② ドイツ
③ イタリア　④ 中国

8 国際連合の専門機関である国際労働機関の略称はどれか。

① IMF　② IAEA
③ ILO　④ ICJ

9 WHO は何の略称か。

① 世界保健機関　② 世界貿易機関
③ 世界銀行　④ 国際通貨基金

10 戦後の国際経済体制について話し合われた会議はどれか。

① サンフランシスコ会議　② ダンバートン = オークス会議
③ ヤルタ会談　④ ブレトン = ウッズ会議

第13講 PART2　確認問題 解答

1 解答：④　カントは常備軍の廃止や国際的平和維持機構の設立などを提唱した。

①：『永久平和論』で国際平和機関の設立を説いた。
②：『戦争と平和の法』で国際法の必要性を説いた。
③：国際連盟の創設を提唱したアメリカ大統領。

2 解答：①　勢力均衡方式は 17 世紀半ばから 20 世紀初頭までのヨーロッパで，軍備拡大競争と武力衝突を招いた。

②：国際連盟は集団安全保障方式の採用例。
③：三国同盟と三国協商の対立は，勢力均衡方式の採用例。
④：集団安全保障方式は，国際平和機関を設立し安全平和を確保するという考え方で，国際連合はその採用例。

3 解答：②　ウィルソンはアメリカの第 28 代大統領で，国際連盟の創設に尽力した。

①：『永久平和のために』で国際平和機関の設立を説いた。
③：『戦争と平和の法』で国際法の必要性を説いた。
④：『永久平和論』で国際平和機関の設立を説いた。

4 解答：②　国際連盟設立当初の常任理事国はイギリス・フランス・イタリア・日本の 4 カ国で，のちにドイツ・ソ連が加わった。

①：1939 年に除名された。
③：1933 年に脱退した。
④：1933 年に脱退した。

5 解答：④　提唱国であり最強国であるアメリカは，上院の反対により国際連盟に参加しなかった。

①：武力制裁規定は明記されず，行えるのは経済制裁のみであった。
②：全会一致制の原則がとられた。
③：日本が提案した人種的差別撤廃案はアメリカ・イギリスの反対により却下。

6 解答：①　サンフランシスコ会議は 1945 年に開催され，連合国 50 カ国が参加した。

②：戦後の国際経済体制について話し合われた会議。
③：米・英・ソがドイツ・日本降伏後の国際秩序を決定した会談。
④：米・英・ソ（のち中と交代）が国連の原則や憲章の草案を検討した会議。

7 解答：④　安全保障理事会の常任理事国は米・英・仏・ソ・中の５カ国。

①：安全保障理事会の常任理事国ではない。
②：安全保障理事会の常任理事国ではない。
③：安全保障理事会の常任理事国ではない。

8 解答：③　国際労働機関〔ＩＬＯ〕は労働条件の国際的な改善を目的とする。

①：国際通貨基金の略称。
②：国際原子力機関の略称。
④：国際司法裁判所の略称。

9 **解答：①**　世界保健機関〔WHO〕は, 保健衛生問題に取り組む国際連合の専門機関。

②：略称は WTO。
③：略称は IBRD。
④：略称は IMF。

10 **解答：④**　アメリカのドルを基軸通貨とし，固定為替相場制を採用することが決定された。

①：国際連合憲章〔国連憲章〕を採択した会議。
②：米・英・ソ（のち中と交代）が国連の原則や憲章の草案を検討した会議。
③：米・英・ソがドイツ・日本降伏後の国際秩序を決定した会談。